

令和6年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験問題

次の各文を読み（ ）内に最も当てはまる語句を（ア）～（ウ）の中から1つ選び記号を解答欄に記入しなさい。

【貴金属素材・貴金属加工】

- (1) スターリング・シルバーは、銀 925‰に（ ） 75‰を加えた合金である。
（ア）金 （イ）真鍮 （ウ）銅
- (2) K24 の地金を千分率で表すと（ ）‰である。
（ア） 999 （イ） 1000 （ウ） 100
- (3) 糸ノコの刃の 2 番よりも（ ）の方が刃の幅が広い。
（ア）4/0 番 （イ） 4 番 （ウ） 2/0 番
- (4) （ ）は、金属材料にカニコンパス等を用いて印を付ける作業である。
（ア）付き目 （イ）けがき （ウ）ヘラ掛け
- (5) 鑄造機には 2 タイプある。遠心鑄造機と（ ）鑄造機である。
（ア）真空加圧式 （イ）真空減圧式 （ウ）超音波式
- (6) 薬品類の保管は少量であっても地震などによる転倒防止の措置をとり、直射日光を避け、（ ）に保管する。
（ア）風通しの良い場所 （イ）冷暗所 （ウ）鍵付きの戸棚
- (7) （ ）とは、直接地金を融かすことによる接合の方法である。最近では高温バーナーよりもレーザー溶接機が普及している。
（ア）共付け （イ）ロウ付け （ウ）ハンダ付け
- (8) 貴金属は、金、銀、プラチナ、イリジウム、オスミウム、ルテニウム、ロジウム、（ ）の合計 8 種類の金属である。
（ア）インジウム （イ）パラジウム （ウ）ジルコニウム

- (9) Pt850 (Pt : 850%+Pd : 100%+Cu50%) は主に () 用に使用されている。
- (ア) リング (イ) チェーン (ウ) キャスト
- (10) K18 イエローゴールドの中でも、組成の 750%が Au、125%が Ag、125%が Cu である合金を通称 () と呼ぶ。
- (ア) ゴーゴー (イ) ロクヨン (ウ) 半々
- (11) 造幣局の品位証明区分において、プラチナ製品は () である。
- (ア) 4 品位 (イ) 6 品位 (ウ) 8 品位
- (12) 貴金属を合金にした場合、3 種類の純金属を使用したものは二元合金、4 種類以上の純金属を使用したものは () と呼ばれる。
- (ア) 複元合金 (イ) 多元合金 (ウ) 超合金
- (13) 赤タガネなどに用いられる工具鋼の名称は () である。
- (ア) 合金工具鋼 (イ) 高速度工具鋼 (ウ) 炭素工具鋼
- (14) 濃度 10%の希硫酸を作る場合、『()』という手順で混ぜ合わせる。
- (ア) 硫酸を容器に入れ、水を静かに加えて 10%の濃度にする
(イ) 水を容器に入れ、硫酸を静かに加えて 10%の濃度にする
(ウ) 硫酸を容器に入れ、水を素早く加えて 10%の濃度にする
- (15) 硼砂の成分は () であり、878℃で金属表面にガラス状の被膜を作る。
- (ア) 炭酸水素ナトリウム (イ) ホウ酸マグネシウム (ウ) ホウ酸ナトリウム

【宝石素材・宝石加工】

- (16) トリムソーによる宝石の切断は、厳密に言えば宝石素材を () 。
- (ア) 溶かしている (イ) 裂いている (ウ) 削っている

- (17) 宝石の研磨剤にカーボランダムがある。この成分は（ ）である。
- (ア) 酸化アルミニウム (イ) 鉄アルミニウムケイ酸塩 (ウ) 炭化ケイ素
- (18) ファセッターはドップに接着した宝石素材を一定の（ ）で研磨板に押し当てる為の機械である。
- (ア) 硬度 (イ) 角度 (ウ) 圧力
- (19) 遊離砥粒の管理では、先ず（ ）の混合を避ける。
- (ア) 粒度 (イ) 硬度 (ウ) 速度
- (20) 宝石素材の研磨では粗い粒度から細粒の粒度へ使用研磨材を変えて加工する。粒度 # 8 0 0 の研磨剤で加工した面は、次に粒度（ ）の研磨剤を使う。
- (ア) # 1 8 0 (イ) # 4 0 0 (ウ) # 1 5 0 0
- (21) () 仕上げとは、艶出しの後に行う艶消し加工のことである。
- (ア) 鏡面 (イ) フロスト (ウ) ワックス
- (22) () など劈開のある宝石は一定の方向に割れやすいため、加工する場合は注意が必要である。
- (ア) ダイヤモンド (イ) トルマリン (ウ) ガーネット
- (23) 天然トパーズのモース硬度は（ ）である。
- (ア) 7 (イ) 8 (ウ) 9
- (24) 宝石の三要件とは、秀美性、（ ）、希少性である。
- (ア) 耐久性 (イ) 類似性 (ウ) 汎用性
- (25) ダイヤモンドの4 C 評価基準 (GIA 方式) のうち、最も良いカラーグレードは（ ）グレードである。
- (ア) D (イ) A (ウ) Z

(26) 天然には対応物が存在し、一定の化学特性、物理特性、内部構造を有し、人工的に生産した物質を（ ）と呼ぶ。

(ア) 模造石 (イ) 人造石 (ウ) 合成石

(27) 分散度が高い透明な宝石程、強い光を当てた場合に、屈折による内部反射により虹が生じる。この現象を（ ）と呼ぶ。

(ア) イリデッセンス (イ) シンチレーション (ウ) ファイアー

(28) 宝石に「白色光」と「赤味の多い人工灯」を交互に当てた場合、宝石自体が持つ光の吸収パターンにより緑色と赤色のカラーチェンジが見られる。この性質を持つ宝石には、この性質が顕著な宝石の名称を冠して（ ）・タイプと呼ぶことがある。

(ア) アレキサンドライト (イ) ラブラドライト (ウ) プレシャスオパール

(29) ラウンド・ブリリアント・カットを例にカット部位のサイズを比べたとき、最も大きなサイズである部位は（ ）である。

(ア) テーブル面 (イ) ガードル直径 (ウ) キューレット

(30) ケイ酸塩鉱物は一般に酸に強いが、（ ）だけは強い酸に弱く、表面が浸食され透明感が低下するので注意が必要である。

(ア) アクアマリン (イ) ペリドット (ウ) トルマリン

【デザイン】

(31) 2つの部位の比率が[1 : 1.618・・・]となる比率を通称（ ）と呼ぶ。

(ア) 白銀比率 (イ) 純金比率 (ウ) 黄金比率

(32) 色の要素のうち、彩度は色の（ ）の度合いを表す。

(ア) 明るさ、暗さ (イ) 鮮やかさ、鈍さ (ウ) 色の種類

(33) 完成品のイメージを伝えるための立体的完成予想図を（ ）と呼ぶ。

(ア) 製図 (イ) レンダリング (ウ) ドローイング

- (34) リングの二面図の描き方は、真上、() からの二図である。
(ア) 真正面 (イ) 真下 (ウ) 真横
- (35) CAD の中でもジュエリーなど立体的な造形検討に用いるのは () の CAD である。
(ア) 2次元 (イ) 3次元 (ウ) 高次元

【商品】

- (36) パール・ネックレスの長さによる呼称で、最も短いものは () である。
(ア) チョーカー (イ) プリンセス (ウ) オペラ
- (37) ブローチの受け金具に多く見られるのは「風車式」と「() 式」である。
(ア) スクリュー (イ) ネジ (ウ) 鉄砲
- (38) () は晩餐会や結婚式で使用する女性用の髪飾りである。
(ア) アンクレット (イ) ティアラ (ウ) 帯留め
- (39) 使用素材に制限のあるものをファイン・ジュエリー、ないものを () ・ジュエリーと呼ぶ。
(ア) コスチューム (イ) ブライダル (ウ) メンズ

【流通】

- (40) 地域性を考慮した販売戦略に対し、国際的な販売戦略のことを () ・マーケティングと呼ぶ。
(ア) グローバル (イ) エリア (ウ) ニッチ
- (41) 産業財産権の上位概念に当たる権利の総称を () と呼ぶ。
(ア) 特許権 (イ) 知的財産権 (ウ) 著作権

【マネジメント】

(42) 生産管理は良い品を、() で、早く作ることににより、顧客満足を得ることが目的である。

- (ア) 安いコスト (イ) 高いコスト (ウ) コスト無視

(43) 生産計画における生産の 4M とは、人 (Man)、資材 (Material)、設備 ()、方法 (Method) の 4 項目である。

- (ア) Machine (イ) Modeling (ウ) Manipulate

【ジュエリー文化史】

(44) 縄文時代・中期～晩期では、() を素材として用いた装身具が現れた。

- (ア) 純金 (イ) ガラス (ウ) ヒスイ

(45) 飛鳥時代～ () 時代の 100 年余りの間は装身具を使用する習慣が突如消える。

- (ア) 奈良 (イ) 鎌倉 (ウ) 安土・桃山

(46) 明治時代になると、上流階級では () のジュエリーを身につける人が現れた。

- (ア) 国際式 (イ) 西洋式 (ウ) 東洋式

【ジュエリー産業史】

(47) 1966 年、() の啓蒙活動を行うデ・ビアス社が日本に上陸した。

- (ア) 金 (イ) プラチナ (ウ) ダイヤモンド

(48) 1989 年 11 月 11 日には日本ジュエリー協会により () のキャンペーンが始まる。

- (ア) ジュエリー・デー (イ) アクセサリー・デー (ウ) パール・デー

【山梨におけるジュエリー産業の変遷】

(49) 山梨県では明治時代になると（ ）の採掘が自由化された。

(ア) メノウ (イ) 金鉱石 (ウ) 水晶

(50) 1989年、山梨県は装身具制作における技術の保全と後継者育成のため、
山梨県（ ）認定制度を制定した。

(ア) ジュエリーマスター (イ) 貴金属装身具制作技能 (ウ) 伝統工芸士

令和6年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験解答

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) |
| ウ | ア | イ | イ | ア | ウ | ア | イ | イ | ア |

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) |
| ア | イ | ウ | イ | ウ | ウ | ウ | イ | ア | ウ |

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| (21) | (22) | (23) | (24) | (25) | (26) | (27) | (28) | (29) | (30) |
| イ | ア | イ | ア | ア | ウ | ウ | ア | イ | イ |

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| (31) | (32) | (33) | (34) | (35) | (36) | (37) | (38) | (39) | (40) |
| ウ | イ | イ | ア | イ | ア | ウ | イ | ア | ア |

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| (41) | (42) | (43) | (44) | (45) | (46) | (47) | (48) | (49) | (50) |
| イ | ア | ア | ウ | ア | イ | ウ | ア | ウ | ア |

各問2点、 50問×2点=100点

| | |
|------|--|
| 受験番号 | |
|------|--|

| |
|----|
| 得点 |
| |